

編集後記

アジア大会におけるサッカー日本代表チーム、2004年開催のアテネオリンピックに備えて年齢21歳以下で編成されたばかりの新チームであったが、彼等の活躍には目を見張るものがあった。ブロック予選リーグ3試合と決勝トーナメント3試合の合計6戦で、最後の決勝戦だけは惜しくもイランに1-2で敗れたが見事「銀メダル」を獲得した。

粗削りでイージーミスも多いが守勢の時間帯は良く耐え、チャンスでは互いのアイコンタクトで一気に攻め上がる戦略性が感じられ、一戦ごとにチームが成長していく状況、過程が良く解り、非常に興味深くテレビ観戦することができた。今後さらに国際マッチを経験していくことにより素晴らしいチームになる予感がする。

今大会でアフガニスタン代表サッカーチームが着用していた真紅のユニフォームは日本からのプレゼントとの報道に接したが、これにはとても感動した。

ようやく内戦が終り、その日一日を生きるために精一杯の彼等がよく参加してくれたこと、そのチームに日本がユニフォームをプレゼントしたと言うこの話、心にジーンときました。この友情は彼等も一生忘れることは無いだろうし、このような形での国際貢献もなかなかいいものだと思います。

さて、今月号にご寄稿いただいた報文は、土砂採取大土工における破碎・搬送設備の総合運転監視システムの紹介として「大規模連続土工のシステムインテグレーション」、新北九州空港連絡橋工事における「大型起重機船による大ブロック一括架設」、さらに、鉄道に近接した道路トンネルの作業基地の築造工事例として「TULIP工法を用いた先行支保工の施工」、また、福岡地区の飲料水生産設備建設工事の紹介として「海水浸透取水方式による淡水化プラント施設の概要」を掲載させていただきました。

さらにシステムや機械の開発に関しては、「盛土転圧情報化施工管理システム」、「プラスチック焼結体エレメントを用いたトンネル工用集塵機の開発」、「ラバーシリンダ式高圧水発生方式によるウォータージェットはつり工法の開発」を掲載させていただきました。

また、巻頭言には独立行政法人土木研究所の田中理事にご執筆いただきました。

ご執筆いただいた皆様には決算時期等でご多忙の中、ご協力賜りましたこと、誠にありがたく、厚く御礼申し上げます。

有り難うございました。

(門田・渡辺)

機関誌編集委員会

編集顧問

浅井新一郎	石川 正夫
今岡 亮司	上東 公民
岡崎 治義	加納研之助
桑垣 悦夫	後藤 勇
新開 節治	高田 邦彦
田中 康之	田中 康順
塚原 重美	寺島 旭
中岡 智信	中島 英輔
中野 俊次	本田 宜史
両角 常美	渡邊 和夫

編集委員長

橋元 和男

編集委員

久保 和幸	国土交通省
小幡 宏	国土交通省
池田 哲郎	国土交通省
窪 豊則	農林水産省
江藤 祐昭	原子力安全保安院
本多 明	日本鉄道建設公団
軍記 伸一	日本道路公団
門田 誠治	首都高速道路公団
坂本 光重	本州四国連絡橋公団
山崎 劭	水資源開発公団
高村 和典	日本下水道事業団
吉村 豊	電源開発
渡辺 博明	大林組
土井 重孝	鹿島
橋本 弘章	川崎重工
岩本雄二郎	熊谷組
矢仲徹太郎	コベルコ建機
金津 守	コマツ
奥山 信博	清水建設
山口久一郎	新キャピラー三菱
増子 文典	大成建設
星野 春夫	竹中工務店
加藤 謙	東亜建設工業
境 寿彦	日本国土開発
齊藤 徹	日本鋪道
館岡 潤仁	ハザマ
緒方浩二郎	日立建機

12月号予告

- ・岩盤対応型大口径シールドマシンによる海底トンネルの施工—志賀原子力発電所2号機放水路工事—
- ・大型重機による大規模岩盤掘削—志賀原子力発電所2号機基礎掘削工事—
- ・中国横断自動車道浜田東ジャンクション桁撤去工事—ユニットキャリア及びデッキリフトによる桁撤去工事—
- ・反射法地震探査による切羽前方探査—三次元 TSP システムの現場への適用—
- ・発破を用いないトンネル切羽前方地質探査法 (SSRT)
- ・画像処理を用いた工事前接警戒自動監視システム
- ・小断面トンネル専用覆工コンクリート切削機の開発
- ・最終処分場遮水機能検査システム「s-Can light」の開発—安全かつ信頼性の高い最終処分場を目指して—

No.633 「建設の機械化」 2002年11月号

(定価) 1部840円(本体800円)
年間購読料9,000円

平成14年11月20日印刷

平成14年11月25日発行(毎月1回25日発行)

編集兼発行人 玉光弘明

印刷所 株式会社 技報堂

発行所 社団法人 日本建設機械化協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話 (03) 3433-1501; FAX (03) 3432-0289; <http://www.jcmanet.or.jp/>

施工技術総合研究所	〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154	電話 (0545) 35-0212
北海道支部	〒060-0003 札幌市中央区北三条西 2-8	電話 (011) 231-4428
東北支部	〒980-0802 仙台市青葉区二日町 16-1	電話 (022) 222-3915
北陸支部	〒951-8131 新潟市白山浦 1-614-5	電話 (025) 232-0160
中部支部	〒460-0008 名古屋市中区栄 4-3-26	電話 (052) 241-2394
関西支部	〒540-0012 大阪市中央区谷町 1-3-27	電話 (06) 6941-8845
中国支部	〒730-0013 広島市中区八丁堀 12-22	電話 (082) 221-6841
四国支部	〒760-0066 高松市福岡町 3-11-22	電話 (087) 821-8074
九州支部	〒810-0041 福岡市中央区大名 1-12-56	電話 (092) 741-9380